

## 平成29年第1回岐阜市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成29年1月25日（水曜日） 午後2時00分から午後3時30分まで
- 2 場 所 岐阜特別支援学校 校長室
- 3 出席委員 早川教育長、川島委員、中島委員、足立委員、武藤委員、横山委員
- 4 説明のために出席した事務局の職員  
石原教育立市政策審議監、古田学校教育審議監兼学校指導課長、  
堀学校保健課長、杉山岐阜東幼稚園長、大野岐阜商業高等学校事務長、  
吉成図書館長、小森科学館長、大塚歴史博物館長、若山青少年教育課長、  
菅沼中央青少年会館長、杉山市民体育課長、長谷川教育政策課主幹兼政策係長、  
川合図書館副館長、岸田図書館主査兼児童図書係長
- 5 職務のために出席した事務局の職員  
河井教育政策課主幹、後藤教育政策課副主査、波賀野教育政策課主任主事、  
山岡教育政策課主事
- 6 議事日程
  - 第1 開会
  - 第2 前回会議録の報告、修正及び承認
  - 第3 会議録署名者の指名
  - 第4 諸般の報告
    - (1) 平成28年度生徒指導上の問題行動等に関する報告の補足について（学校指導課）
    - (2) トライライト通級指導教室の設置について（学校指導課）
    - (3) 茜部小学校における吐き気や嘔吐による体調不良者について（学校保健課）
    - (4) 岐阜市立図書館の開催する主な事業について（図書館）
    - (5) 「第2次岐阜市子どもの読書活動推進計画（案）」について（図書館）
  - ※(6) 臨時代理の報告について（図書館）
- 第5 議事
  - (1) 第1号議案 岐阜市教育委員会公印規則の一部を改正する規則制定について（教育政策課）

(2) 第2号議案 平成28年度末岐阜市学校教職員定期人事異動方針及び実施要項について（学校指導課）

※(3) 第3号議案 岐阜市教育委員会臨時的任用職員及び非常勤嘱託職員の任免について（教育政策課）

## 7 会議に付した事件

「6 議事日程」のとおり。なお※の報告及び議案は、秘密会形式で審議した。

## 8 議事の経過

午後2時05分開会開議

**○早川教育長** それでは定刻となりました。出席者数は定数に達していますので、会議が成立しています。ただいまから平成29年第1回岐阜市教育委員会定例会を開会します。

前回の会議録は前回の出席者により承認されました。本日の会議録の署名者には本日の出席者を指名します。

傍聴者に申し上げます。傍聴の際は傍聴券の裏面に記載した事項を遵守してください。会議の円滑な運営にご協力願います。

議事日程をご覧ください。本日は報告事項が6件、議事が3件となっています。議事日程に秘密会で審議すべき案件が記載されていますが、このとおり扱うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

**○早川教育長** 異議なしということでそのように取り扱います。それでは日程第4の諸般の報告にまいります。報告(1)について説明をお願いします。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長**（平成28年度生徒指導上の問題行動等に関する報告の補足について説明）

**○早川教育長** ただいまの説明について、ご質問やご意見等をお願いします。

**○川島委員** 最近の新聞のコラムで「高校中退者が社会的に不利な立場におかれている」という記事がありました。学生であれば社会的な保障や福祉等が受けられるのですが、義務教育終了後に進学や就職をしないと社会的に支援を得られない状態

になってしまうという事でした。

岐阜市では、20歳までがエールぎふの対象内になるわけですね。義務教育以降の未成年で、支援が受けられない方を出さない、もしくはなるべく少なくする事とともに、支援する組織としてエールぎふ等の支援機関があるという周知を進めていただきたいと思います。非常に根が深い問題である事を再認識しました。

**○早川教育長** 非常に深刻な問題です。委員の皆さんからのご質問により、2回に渡って掘り下げて考える事ができました。不登校の子は、普通に登校していた子に比べてひきこもりやニートになる確率が倍以上高いというデータも出ています。彼らがりカバーする事は困難を伴うため、しっかりと対応しなければいけません。

また、今は高齢者のひきこもりの問題も出ています。手が打てる内に素早くしっかり取り組むべきだと思います。同じような問題は特別支援学校の卒業生にもあるかと思いますが、学校側は就業率など分かっていますよね。

**○熊田岐阜特別支援学校長** 一般就労が3割、福祉就労が7割です。卒業後3年間は追跡して家庭訪問をしています。現在、進路先を辞めると言っている子が1人いますが、もし辞めても本人と懇談を続けます。

**○早川教育長** 3年間追跡するという事は法律等で決まっているのですか。

**○熊田岐阜特別支援学校長** 決まっていません。学校の対応として、3年間を目途に対応させていただいています。

**○早川教育長** それはいい方法ですね。義務教育もフォローアップする必要があるのではないのでしょうか。

**○武藤委員** 確かにフォローアップができればいいのですが、卒業後も従前どおり面倒を見ることは難しい面もあるでしょうから、不登校だった子について、進路先との引き継ぎが、どの程度上手くできていたのかが気になる点です。十分な引き継ぎがなされず、生徒が進路先で上手く適合できなかったのだとすると、かわいそうな事だと思います。追跡できれば一番良いのですが、できないとしても中学校段階で把握していた生徒の問題点を進路先に引き継ぐ方法を考えていただいた方が良いと思いました。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 反社会的な行動が多かった生徒や、不登校になっていた生徒については、進路が決まった後に中学校の進路指導担当や担任が

進路先へ出向き、生徒の状況を引き継ぐ事を手厚くやっています。何らかの障がいがある生徒については、個別の教育支援計画をしっかりと引き継いでいけるようにする法律ができましたので、今後はもっと手厚くなっていくだろうと思います。

しかし、環境が変わった際に大きく抵抗を感じる子どもたちが多く、最初の半年から1年にかけて山場となります。卒業させた子どもたちとどこまで関われるかは難しいところがあるのですが、生徒たちを心から送り出せるようにしていきたいです。

**○川島委員** 卒業後も体育祭等に来る子は、進学や就職をせず見た目が派手な子が多いです。居場所がなくて寂しいなどの理由から来ているようです。悪い子ではないと思って見っていますが、彼らの居場所がいつも気になっていました。

**○早川教育長** これは貴重な資料ですので、様々ところで発表していきたいと思います。続いて報告(2)について説明をお願いします。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** (トワイライト通級指導教室の設置について説明)

**○早川教育長** ご意見やご質問はいかがでしょうか。

**○横山委員** トワイライト通級指導教室で働く職員はこの専任ですか。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** そうです。身分は小学校の職員ですが、小学校から離れた場所にあるトワイライト通級指導教室に出勤し通級指導にあたります。金曜日だけは前倒しの勤務時間にして、所属する小学校全体の動きに合わせて会議などにも参加できるようにしています。しかし、それが負担になってもいけないので、基本的には通級指導に専念してもらおう予定です。

**○横山委員** 東京などの都会では、希望者に対して受入数が足りていない状況が深刻ですが、そうした状況は岐阜市にもあるのですか。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 多々あります。

**○横山委員** わざわざ別の場所に作らなくても、それぞれの学校にあればそちらに通いますよね。通っている学校に通級指導教室が無いという事ですね。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** はい。

**○横山委員** トワイライト通級指導教室は不足の解消になるのですか。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** はい、中学生にとっては不足の解消になります。現在、岐阜市内に中学校が22校ありますが、通級指導教室はその内の4校に各1教室しかありません。

**○早川教育長** 情緒障がいを理由に児童を通級指導教室へ通わせている保護者の方からは、「子どもが通級指導教室から帰ってくると精神的にとても安定している」という感想をいただき、大変評判が良くニーズが高いのですが、進学先の中学校に通級指導教室が無いことが多いため、通級親の会からは「このまま中学校へ行かせるのが心配だ」という意見があります。

しかし、特別支援学級の設置認可権が県にあるため、市から県へ設置するように要望を出しても、県で「定数内」という措置をされると増やす事が難しいです。中学校は現在、市内5ブロックの内4ブロックにそれぞれ1校ずつ設置する事ができたのですが、あと1校増やす事に四苦八苦している状況です。そこで中心部に1校設置して、市内様々な地域の子が通いやすいようにしました。今後、基礎定数化されて現状が改善されるとよいのですが。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 文部科学省へ訴えているのですが、今後10年かけて徐々に基礎定数化していくという事で、時間がかかると思われます。

**○横山委員** 先日、平成29年度の文部科学省の予算が出たところです。特別支援教育関係のものについても予算がつくので、調べて申請していただいて予算を獲得し、こういった事業に取り組んでいただけたらいいと思います。私も文部科学省へ行った時に「岐阜市はこういう取り組みをしている」と宣伝していきたいと思います。いい取り組みだと思います。

**○早川教育長** お願いします。

**○川島委員** 通級指導教室は、中学校のPTAで非常に多くの要望があり、PTAの業務として嘆願書の署名活動を行い役員会へお願いしていたので、充実していくことは大変ありがたいです。

今回は子どもに通ってもらう施策の強化ですが、岐阜市では担当教員が生徒のところへ通う施策も検討をされていたと承知しています。この動きについては具体的に進展があるのでしょうか。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 課題がありまして、A校の生徒がB校の通級指導教室へ通えば、保護者の方が子どもを送迎するという必然が生まれ、担当教員と保護者がコンタクトを取れますが、もし、B校の担当教員がA校へ行けるようにすると、子どもたちは保護者の送迎が無く通級に通えるので、担当教員が保護者とコンタクトを取る機会が無くなってしまいます。

**○早川教育長** 担当教員と保護者のコミュニケーションのためには、他校通級の方がいいということですか。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** そうした課題がありますが、岐阜市は県と交渉を重ね、平成27年度から特例として2校だけ担当教員の移動通級が認められました。1校は城西小学校にいる担当教員が原則週に2日、島小学校へ行っています。もう1校は本荘中学校にいる担当教員が原則週に1日、精華中学校へ行っています。成果が出ているので、もっと増やせるように県と調整しているところです。

**○川島委員** 今回のトワイライト通級指導教室は非常に先進的なもので更なる充実を期待します。今後も保護者の方のニーズに応え、生徒のためになる通級指導の検討をお願いします。

**○横山委員** 私も推進を期待します。

**○中島委員** トワイライト通級指導教室の条件になっている「保護者が送迎する」という点について申し上げます。

子どもが行っているファミリーサポートセンター事業において、保護者の方から通級指導教室への送迎依頼が来ます。それは親の怠慢ではなく、お子さんを通級させたいけれどお母さんが病気になり送迎できないケースや、下の子が病気になり、上の子の通級の送迎ができないケースです。

今後、女性たちが働き続ける事を考えると、この条件は更に負担となります。親の生活の変化のために、子どもたちが通級できないという事ではいけないので、支援を上手に利用して通級ができるようにしていただきたいです。

親の家庭教育力が低くても地域力が高かったら、子どもたちはきっと健全に育っていきます。送迎の条件を保護者と限定せず緩めていただけると、子どもたちは通いやすくなると思います。子育てタクシーといって、子どもが一人でタクシーに乗ることができるサービスも出てきました。そういったサービスも上手に利用してお子さんの通級ができるよう配慮していただけると嬉しいです。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 現在、トワイライト通級指導教室以外の通級指導教室では、特別な事情がある場合にタクシーによる通級を認めています。しかし、トワイライト通級指導教室は養護教諭が近くにいるわけではないため、指導中に何かあった場合が心配されます。その為、現時点では保護者についていただけることを条件にしていますが、今後は他の通級と同じようにタクシーの利用など様々な事を考えながらやっていきたいと思えます。

**○中島委員** よろしくお願ひします。

**○足立委員** 素晴らしい取り組みだと思えます。通級指導教室の指導者ですが、全体的に人数は足りているのでしょうか。指導者の養成にもお金を使っただけから良いと思えます。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 通級指導教室に限らず、特別支援を専門的に指導できる人が足りません。育成に力を入れていきたいと思えます。

**○早川教育長** 熊田岐阜特別支援学校長、特別支援学校の免許取得状況などを説明してください。

**○熊田岐阜特別支援学校長** 本来、特別支援学校の教員は特別支援学校の教育職員免許状を取得、保有していないといけないのですが、今は高等部を教える教員は高校の教育職員免許状、中学部を教える教員は中学校の教育職員免許状、小学部を教える教員は小学校の教育職員免許状があれば猶予されています。

文部科学省は平成32年度を目途に、必ず特別支援学校の免許保有者が教壇に立つよう施策を出しています。平成28年4月1日付けでの岐阜特別支援学校の免許保有率は52%なので、平成31年度までに計画的に免許更新・免許取得をしていただくようお願ひしています。

**○横山委員** 特別支援教育の基盤を強化していかななくてはならないので、通常学校の教員にも特別支援教育の資質を身につけさせていかななくてはならないです。今後、教育職員免許法の改正により、教員の養成課程において、特別支援に関わる単位が1単位義務化されると思えます。

**○早川教育長** 通級指導教室には特別なスキルが必要になるので、きちんと確立し、研修させる事が大事だと思えます。武藤委員はいかがですか。

○**武藤委員** 保護者や子どもたちのニーズに合わせて頑張っていたいただいている様子が目に見えていて、頼もしく思います。我々も一生懸命応援したいと思いますので、是非頑張っていたきたいと思います。

○**早川教育長** 担当教員が移動する通級指導教室については、2校だけではなくもっと増やせる可能性があると思いますので、緻密に見てやっていただきますようお願いいたします。

続いて報告(3)について学校保健課から説明をお願いします。

○**堀学校保健課長** (茜部小学校における吐き気や嘔吐による体調不良者について説明)

○**早川教育長** 足立委員、いかがでしょうか。

○**足立委員** 「学年によって発症者数にばらつきがあったことから、給食が原因の可能性は低い」とのことでした。また「発症者数について、北校舎の方が多く南校舎の方が少なかった」とのことでしたが、北校舎で何学年かに渡って出ていますよね。

調査結果では、給食から病原菌等が検出されませんでした。このような場合は皆が同じ物を食べて一斉に発症した可能性を丁寧に考えていくべきかと思います。保健所が指導をしたとは思いますが、15日には南校舎にも広がったということですから、給食が原因である可能性が低いとするのは時期尚早だったかも知れません。

○**堀学校保健課長** 保健所と調整しながら、14日時点では学年によって発症者数にバラつきがあったため「給食が原因の可能性は低い」と発表させていただきましたが、足立委員がご指摘のとおり給食が原因の可能性も考えられる段階ですので、発表の仕方についてはより慎重に検討させていただきます。

○**早川教育長** 結果として見事な対応となっていますが、後で給食から病原菌が見つかったら大変な事になっていたと思いますので、反省すべき点はあるかと思います。他にはいかがでしょうか。

○**中島委員** 資料に「15日の16時から茜部小学校体育館にて保護者説明会を実施」とあるのですが、まだ欠席者が多い時期に説明会をしても、子どもの体調が悪く家を出られない保護者の方が多いのではないかと思います。

また、消毒をしている状態の学校に保護者を呼ぶのは良い事でしょうか。多くの



保護者が学校側とメールでやりとりをしていらっしゃるので、事情をメールで連絡して、学校が安全になってから改めて報告をするなどの対応がよいと思いました。保護者の方はどれ位集まりましたか。

**○堀学校保健課長** 保護者説明会の参加者数は70名でした。発生から説明会を実施するまでの間に、学校から保護者の方へ何度かメール配信をしています。今回の学校の対応については、学校が冊子を作りましたので、今後はこの冊子を元に対応していこうと思います。

**○早川教育長** 説明会を実施するタイミングは難しいですね。委員の皆さんは保護者の感覚としてどうですか。

**○川島委員** 対応そのものについて否定的な意見は無く、教育長が仰られた通り、結果として非常によくコントロールされたと思います。

事件、事故、原因不明の流行性の病原菌などで、多くの生徒が休み始めた場合の対応マニュアルは学校で用意されているのでしょうか。

**○堀学校保健課長** 学校保健課では、給食に関して危機管理マニュアルを用意しています。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** 学校にもあります。

**○川島委員** マニュアル通りに対応した結果、上手くいったのであればそのマニュアルは有効だし、問題が生じたのであればマニュアルを改訂する必要があります。今回はマニュアルに則った運営がされたのでしょうか。

今、中島委員からのご指摘がありましたが、原因菌などが特定されていない状態で保護者を学校に呼ぶ事は良い事でしょうか。

また、学校を再開した19日の段階で59名が休み、16名の早退がありました。その後収束していったので問題は無かったのですが、ぶり返して被害が大きくなった場合を想定すると、学校再開の判断が尚早だったこともあり得るので、今回を教訓にして次に活かせるところを考えるべきです。マニュアルは学校に完備されているのですか。

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長** はい。

**○川島委員** 主にインフルエンザを対象にしたマニュアルですか。

○古田学校教育審議監兼学校指導課長 はい。そのマニュアルを準用したかたちになります。

○川島委員 足立委員、インフルエンザとノロウイルスの対処は同じようなものなのでしょうか。

○足立委員 保健所の指導内容は分かりませんが、ノロウイルスは今回のように爆発的に広がりますから、インフルエンザとは別の物として考えたいです。インフルエンザだけを元にしたマニュアルであれば、一度見直してもいいかと思います。

○古田学校教育審議監兼学校指導課長 インフルエンザが基本になっていますが、ノロウイルスだと消毒方法が加わります。2年前に、別の中学校で集団感染が発生しそうになったので、ノロウイルスへの対応を追記しています。

○足立委員 その時はこのような人数ではなかったのですか。

○古田学校教育審議監兼学校指導課長 はい、その時は職員だけでした。

○早川教育長 原則として、マスコミ発表後は保護者に状況を可及的速やかに説明しなくてはいけないため、学校は早急に説明責任を果たしたのだと思います。ただ、感染性のものでは、状況が落ち着いてから説明してもいいかと思います。

○川島委員 今、保護者はほぼ全員がメールを使えると思いますので、事情を伝えてメールでの説明で十分かと思います。

○中島委員 その方が親切だと思います。

○早川教育長 検討させていただきます。様々ご指摘をいただきありがとうございます。ほかは宜しいでしょうか。武藤委員、学校に落ち度があった場合、国家賠償法の対象になる事がありますか。

○武藤委員 学校の対応が悪くて拡大したという事の因果関係が立証されれば、その可能性はあります。原因を特定する事はなかなか難しいと思いますが、そういうことも含めて万全の対策をとっていただくようお願いいたします。各学校で十分対応を考えていっていただくと良いと思います。

○早川教育長 特に今の時期、給食調理員たちは神経を研ぎ澄ませて作業していて大変だと思います。続きまして図書館から報告をお願いします。

○吉成図書館長 (岐阜市立図書館の開催する主な事業について説明)

- ・著者に会いたい「tupera tupera」
- ・子どもと本と遊ぶ日「どうぶつえんづくりをしよう！」

○吉成図書館長 「著者に会いたい「tupera tupera」」は参加者を募集したところ、1日で満員となりました。

○早川教育長 「子どもと本と遊ぶ日」も満員ですか。

○吉成図書館長 もう少しで満員になります。

○中島委員 イベントのチラシはいつ頃完成して配布されているのですか。

○吉成図書館長 今回報告したイベントは12月に配布しました。

○中島委員 チラシは図書館へ行かないといただけないのですか。

○吉成図書館長 行政関係へ配っています。あとは図書館です。

○中島委員 子育て支援の広場をやっているのですが、イベントのチラシを送っていただくことは難しいでしょうか。

○吉成図書館長 大丈夫です。

○早川教育長 具体的に子育て支援の施設というのはどこでしょうか。何か所かありますよね。

○中島委員 2か所ありますが、私のところへ送っていただければ、こちらから各施設へ送ります。あとから連絡先をお渡ししますので、宜しくお願いします。

○早川教育長 できるだけ参加したい方にチラシが届くといいですね。

○吉成図書館長 そうしたいと思います。宜しくお願いします。

○武藤委員 届くべき人に届くという観点で、インターネットなどの情報提供もチラシと同時期に配信されていますか。

○吉成図書館長 はい、大体一緒です。

○武藤委員 チラシには限界があると思います。お母さん方もスマートフォンでお調べになると思いますので、情報発信を引き続きやっていただくと効果的かと思います。宜しくお願いします。

○早川教育長 応募人数が多かったら、イベントの回数を増やすなど対応してください。

○吉成図書館長 次回を考えたいと思います。

○早川教育長 他は宜しいですか。報告(5)をお願いします。

○吉成図書館長 (第2次岐阜市子どもの読書活動推進計画(案)について説明)

○早川教育長 それではご意見をいただきたいと思います。

○川島委員 中身については承知しました。パブリックコメントについても、ポイントを押さえ、それへの対応策について承知しました。マイノリティの方に対する配慮についても非常にありがたい話だと思います。

吉成図書館長がお話された「数値目標をあえて掲げない」という意見にも賛同します。今、非常に来場者が多く、これに裏打ちされた中央図書館の運営がある以上、数字を下げてはいけないという事はあるでしょうが、あえておかしな数字をあげるよりは理念の提示でいいと思います。

私は、吉成図書館長がやられている事は非常に洗練されていて目を見張る思いがありますし、イベントの中身についても洒落ていて良いと思うのですが、サマリーは難しい字が多くて分かりづらいです。チラシ位の分かり易いもので良いと思います。読んでもらう事が目的なのでセンス良くお願いします。

○早川教育長 他は宜しいでしょうか。

**○中島委員** 私は読み聞かせのボランティアをずっとやってきました。長良小学校にはPTA役員が読み聞かせをしますし、他の小学校にも読み聞かせのボランティア団体があります。パブリックコメントにも意見がありますが、読み聞かせについて学びたいと思っても先生をお呼びする予算が無く、勉強しきれません。また、新しい本を知る機会もなかなかありません。図書館で読み聞かせに関するイベントをやってもらえると学びの場になるし、他の学校の保護者の方々とも交流する機会ができ、一緒に何かをやるという話し合いの場も作れますので、図書館には保護者を繋げる場になっていただきたいです。

パブリックコメントを出された方は「岐阜市以外の先進的な実績を持つ外部講師」と仰るのですが、岐阜市内にも読み聞かせをしている方はたくさんいらっしゃいます。地域性という事も大切なので、掘り起こしをしていただいて、岐阜市内の先生とも繋いでいく役目をしていただきたいと思います。

**○川島委員** 先日の「平成28年度 5年先行く岐阜市の教育 公表会」で、高等学校の生徒が「私は本を読む事が好きですが、学校で本を読んでいると根暗だと言われそうです。中央図書館で本を読む機会をもらえ、堂々と本が好きだと言って嬉しく思います」とお話されておりました。

ぎふメディアコスモスの非常に大きな成果は、図書館で本を読むことについて皆さんが明るく前向きなイメージを持った事だと思います。これは岐阜市にとって非常に大きな財産です。読書活動推進計画が格好良く、市民が誇りに思えるような物になる事を願ってやまないです。本を読む事がプライドになるような計画になれば良いと思います。

**○横山委員** 先ほど数値目標の話が出ましたが、私がこの読書活動推進計画を見て最初に思った事は数値目標が無い事です。今の説明で理解はしましたが、具体的な数値ではなくても、文章を達成目標のような書き方にすべきだと思います。基本目標の①と②は子どもの主体的な取組みに関わる部分で、③と④は基盤整備に関わる部分ですね。基本目標③に「子どもの読書に関わる関係者を集めたプラットホームづくりを考えています。」とありますが、「考えています」ではなくて、「作っていく」とした方がいいと思います。

**○吉成図書館長** はい、「作っていく」の方が的確だと思います。

**○横山委員** それと、この目標の中には財政負担に関する事が抜けています。あえて書いていないのかもしれませんが、新しい図書を入れるなどの基盤整備は本を読む機会を増やす意味でも必要であり、ある程度お金がかかりますので、財政の話

持ち出してもいいと思います。

**○武藤委員** 学校図書館と市立図書館を結ぶ事は、非常に大事だと思っています。ぎふメディアコスモスから遠方に住んでいる子どもたちは、近所に住む子どもたちのように頻繁に中央図書館へ行けません。「中央図書館ができて自分には関係ない」と思われると悲しく思います。ちょうど昨日、私の子どもの学校に中央図書館の方が来て、お話をしていただいたと聞いています。市全体に中央図書館があるという効果を発揮させていく事が大事なので、「学校と学校図書館と市立図書館を結ぶ」という基本目標を入れていただき、非常にありがたいと思いました。

それと、この計画によって「こういう子どもになって欲しい」という事を子どもたち自身に呼びかける方法は何か考えていらっしゃいますか。子ども向けのサマリーを作成して配るとか、説明するなどもお考えになるといいのではないかと思います。

**○吉成図書館長** 現在、毎月わんこカートを連れて市内の学校を回り「読書活動推進がなぜ必要なのか」ということを子どもたちに直接語りかけています。この度「第2次子どもの読書活動推進計画」ができますので、回数を増やして回っていかうと考えています。

**○早川教育長** 今、武藤委員が仰ったように、この資料を子どもが見ても分かるようにすると、より効果的かもしれません。

**○吉成図書館長** そうですね。低学年向きには低学年に分かるような言葉にしないではいけないので、資料の改善を考えていきたいと思います。

**○早川教育長** 小学校高学年生が見て分かるようなものにすると良いかと思います。

**○吉成図書館長** はい、対象を考えて語り口を変えます。

**○早川教育長** 足立委員いかがですか。

**○足立委員** シンプルな言葉で基本目標①から④を掲げて、小学校6年生位が分かるような資料にされた方がより良いと思います。それと岐阜市は広いので、郊外も視野に入れた図書館の在り方を考えていっていただきたいと思います。

**○早川教育長** 「平成28年度 5年先行く岐阜市の教育 公表会」での発表を聞いても、

子どもたちのレベルがかなり高いので、それを維持しながら進めて下さい。それと、資料を開いた時、真ん中にぎふメディアコスモスの写真があるといいと思います。

**○吉成図書館長** はい、資料のデザイン校正の際に加えます。

**○早川教育長** 宜しく申し上げます。今後の読書活動推進計画の策定スケジュールを教えてください。

**○吉成図書館長** 図書館協議会の計画部会が2月にございます。そこで本日教育委員の皆さんからいただいたご意見をどのように計画に反映させるか話し合い、その後もう一度教育委員会の定例会にかけさせていただこうと思います。

**○早川教育長** 素晴らしいものを作りあげましょう。それでは日程第5の議事に移ります。第1号議案について説明をお願いします。

**○長谷川教育政策課主幹兼政策係長**（岐阜市教育委員会公印規則の一部を改正する規則制定について説明）

**○早川教育長** 第1号議案について、質疑および討論を行います。質疑はございませんか。

（ありませんと声あり）

**○早川教育長** ほかに無ければここで採決を行います。第1号議案について、原案の通り可決することについてご異議ありませんか。

（異議なしと声あり）

**○早川教育長** それでは第1号議案は原案のとおり可決させていただきます。続いて、第2号議案について説明をお願いします

**○古田学校教育審議監兼学校指導課長**（平成28年度末岐阜市学校教職員定期人事異動の基本方針及び実施要項について説明）

**○早川教育長** 同じ学校で、校長が退職して教頭が校長になる場合など、どうしても校長と教頭を同時に変えなくてはいけないケースがあります。今年も何校か出て

しまいました。それは保護者にとって不便でしょうか。

**○中島委員** 以前にそうした小学校がありました。PTAの方がとても苦勞していらっしゃいました。

**○早川教育長** 私は、校長と教頭が同時に新しくなる時、「最初は学校関係者の方との調整が分からないから苦勞したりもするけれど、5月の連休以降は自分のやり方を押し出していけばいい」と新任の校長に言っています。どうしてもそうせざるを得ないです。

**○川島委員** あまりよくない事かもしれませんが、PTAの会計を教頭先生がされている場合、PTA会長や校長先生、教頭先生が同時に変わると会計が全く分からなくなってしまうことがあります。ただ、それは会計を教頭先生からPTAに戻せば解決する話です。校長先生と教頭先生が同時に変わる事は人事異動だからしょうがない事だと思います。

**○横山委員** 短期間で調整する事は無理ですが、もう少し中長期的に考えてアンバランスの解消をするしかないと思います。

**○早川教育長** そうしたいのですが、単年度の人事なので2、3年後を見据えてもなかなかその通りにならない事が多いです。なるべくアンバランスを減らすように努力はしますが、そうなった時には移行がスムーズになるように努力します。

**○武藤委員** 教頭先生が新任の校長先生になるケースで、同じ学校で教頭先生が校長先生に上がるという事はないのですか。

**○早川教育長** 今まで教頭だった教員がそのまま校長になってはいけないというわけではないですが、あまり多くはありません。

**○武藤委員** ある程度継続性があつた方が望ましい場合は、そういう事も考えられるのではないかと思います。

**○早川教育長** 武藤委員からのご提案も選択肢の一つとして考えていきたいと思えます。異動方針について宜しいでしょうか。

**○横山委員** この異動方針は大学の教員養成課程にとっても非常に重要です。例え



ば資料に「新規採用者については、教職に対する基礎的な技量を身につけさせ、人間性を磨き、幅広い知見を得させるため、将来を展望して計画的に配置する。」とあります。今度から重要業績評価指標が用いられますが、重要業績評価指標の最初の項目が新規採用についてです。裏を返せば、大学の教員養成課程でどういう教育を受けた人が新規採用になっているのかという指標が始まります。

**○早川教育長** いい事だとは思いますが、大学とも協力してやらざるを得ない状況です。第2号議案について、原案の通り決することについてご異議のある方はみえますか。

(異議なしと声あり)

**○早川教育長** それでは第2号議案は原案のとおり可決させていただきます。以降の報告及び議事は秘密会で進行します。

(削除)

**○早川教育長** 以上で本日の議事は終了です。次回は2月27日月曜日の午後1時30分から、場所は岐阜競輪場を予定していますので宜しくお願いします。

**○足立委員** 岐阜市の施設なのですか。

**○早川教育長** はい。岐阜市が「東京オリンピック・パラリンピック」ターゲットエイジ育成事業で支援してきた自転車競技の橋本英也選手が日本競輪学校の入学試験に合格したという報道がなされたので、将来的に活躍する可能性がある岐阜競輪場を視察します。それでは、以上で本日の会議を終了致します。ありがとうございました。

午後3時40分 会議終了